



親子支援センターにて

計 43名 参加

中学生サマーボランティア

今年度の中学生サマーボランティア体験には、津幡中学校から2名、津幡南中学校から41名、計43名の生徒さんが参加しました。町内の4か所の施設（しいのきこども園、あがたの里、シグナス児童センター、親子支援センター）やボランティア団体（手話サークル竹）で活動し、地域とのつながりや役立つ喜びを実感しました。参加者からは「初めてのボランティアだったけど楽しくできて良かった」との感想が寄せられ、この経験は生徒さんたちにとってかけがえのない成長の機会となりました。



こども園にて



高齢者施設にて



ボランティア団体との活動にて

シグナス児童センターにて

ご挨拶

日頃より津幡町社会福祉協議会の運営並びに活動に対しましてご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

私は令和7年6月24日に開催されました理事会において津幡町社会福祉協議会会長の要職を拝命いたしました。その職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

令和5年7月の豪雨災害、令和6年1月の能登半島地震等自然災害の脅威に身近に接し、平常時から助け合いや支え合い、見守り活動等の大切さを実感しており、第3期地域福祉活動計画においても基本施策として掲げております。

今後とも町民の皆様と共に「みんなでささえあいともに生きていくやさしいまちづくり」（津幡町社会福祉協議会の理念）に取り組んで参りたいと存じます。何卒皆様方の一層のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

新会長
葉名 貴江



交流会

健康体操

次回開催予定は
12月

津幡町文化会館シグナスで開催し、延べ19名の参加がありました。

午前の部は津幡町健康推進課と津幡町食生活改善推進会主催の健康講座と料理教室を行いました。家庭で簡単にできる減塩調理のコツを学び、鯖缶等を使って美味しい減塩料理を作りました。午後の部は、健康体操と交流会、専門家による出張無料相談会を行いました。

ギムニックボールで体をほぐし、交流会では、同郷ならではの思い出話で話が尽きませんでした。専門家による相談会では、被災者の方々の生活再建にかかる相談事に金沢弁護士会の弁護士と石川県生活再建支援課の職員がご答えしました。利用できる支援金制度や復興住宅のこと、今後の就労についてなど熱心に質問されていました。

今回は12月に開催の予定です。ご参加お待ちしております。



午前の部

健康講座&料理教室

親子支援センター

「ひろば」はママたちのリフレッシュの場

6月に親子支援センター「ひろば」利用者を対象にアンケートを実施しました。

アンケートの内容は「利用頻度」や「利用している時間帯」「イベント参加率」など8項目。アンケートの結果から月に1～2回程度の利用が半数を超えていました。今年度より土曜日開所を再開したことが大きな理由だと考えられます。

また、イベントを楽しみに利用している人もいますが、それ以上に「ここに来るとリフレッシュできる」「おしゃべりがしたい」というママが多いとわかりました。

今後はパパとお子様を対象にしたイベントや子育て講座を土曜日に開催できればと思っています。

これからも「ひろばに行きたい」と言ってもらえるようスタッフ一同「笑顔」でお待ちしています。

利用頻度

利用頻度	割合
① 毎日（回答なし）	6%
② 週1～2回	26%
③ 週3回以上	15%
④ 月1～2回	53%
⑤ 月3回以上	-

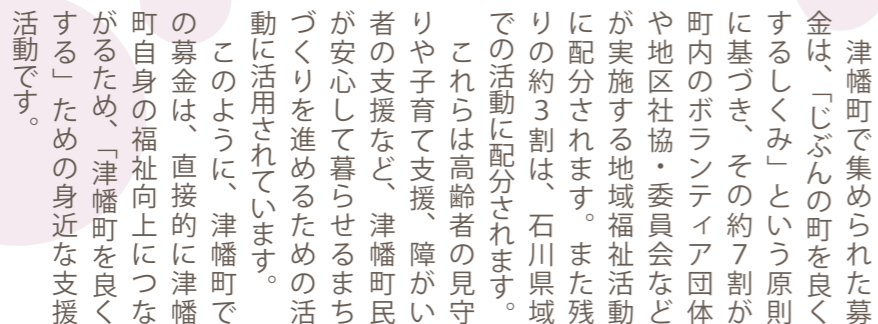
県委託事業

令和6年能登半島地震 被災者見守り・相談支援等事業
第二回 つばたふれあいカフェ





申込書ダウンロード



町内の社会福祉を目的とする団体やボランティアグループ等で、1年以上継続している福祉事業及び人とのつながりを絶やさない地域福祉活動に対して助成します。 ※営利目的や娯楽的な事業は不可

令和 8 年度赤い羽根共同募金
助成申請を
受付します



日本赤十字社

石川県支部

津幡町 分 区

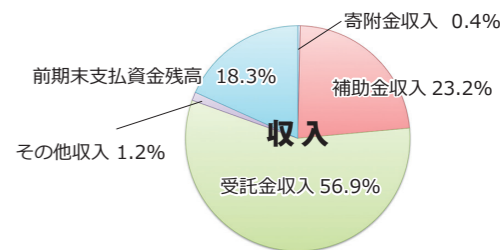
5月の赤十字活動資金のご協力、ありがとうございました

本年は津幡町全 86 地区より合計 3,902,010 円の募金をいただきました。
 赤十字の活動は皆様から集められた活動資金によって成り立っています。
 能登半島地震を含む災害支援をはじめ、救命講習会やボランティア活動などに役立てられています。

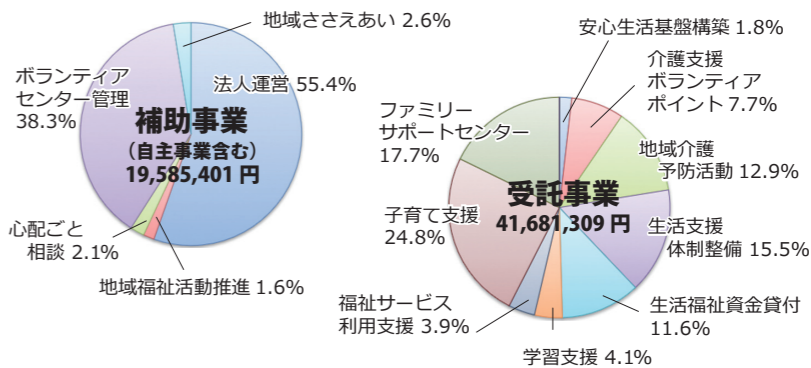
※日本赤十字社は、日本赤十字社法に基づいて設置されている独立した民間の特殊法人です。

私たちの街♥津幡町！

収入 73,640,358 円



支出 73,640,358 円（うち当期末支払資金残高 12,373,648 円）

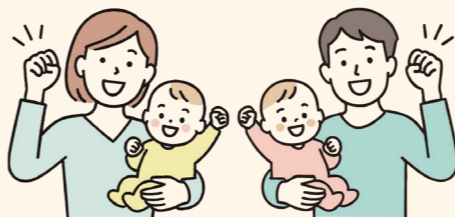


◆ 法人運営事業拠点

- 法人運営事業
理事会 (4)・評議員会 (4)・評議委員選任・解任委員会 (2) 監査会 (1) の開催
- たすけあい金庫貸付 (5 件、貸付金 121 千円)
- 第 16 回津幡町社会福祉大会開催
- 社協だよりの発行 (年 3 回発行)
- 寄贈品の配給 (件)
学童保育 (4)、福祉施設 (5)
- 災害見舞金拠出 (2 件、見舞金 40 千円)
- 災害ボランティア活動支援 (令和 6 年能登半島地震)
ボランティア活動延べ件数 54 件、現地活動延べ人数 244 名
主な活動／倒壊したブロック塀や灯籠などの撤去・運搬
公費解体前の家の片付け
- 被災者見守り・相談支援等事業 生活相談員 16 名、訪問世帯数 211 件

◆ 親子支援センター 事業拠点

- **子育て支援事業（町委託）**
親子支援センター運営
／児童センター利用者数（保護者 4,341 人、子ども 4,033 人）
「親と子の絆づくりプログラム」4 回／利用者数（保護者と子ども 107 組）
「親子でハッピーふれあいタイム」11 回／利用者数（保護者と子ども 78 組）
- **ファミリー・サポート・センター事業（町委託）**
ファミリー・サポート・センター運営
（依頼会員 55 名、提供会員 24 名、利用件数 130 件）
配慮家庭託児事業（140 時間）
子育てサポーター養成講座及び研修会の開催
- **学習支援事業（県・町委託）**
サマースクール（小学生延べ 34 人 5 回）
学習教室（中学生延べ 123 人 20 回）



◆ 地域福祉活動推進事業拠点

- 地域福祉活動**
町内8箇所地区社協・委員会と
地域の特性にあった地域づくりの推進及び活動支援
生活支援連絡会、地域づくり研修会、刈安地区地域見守り勉強会
いきいきサロン訪問、町いきいきサロン連絡会代表者会議研修会
- 心配ごと相談事業**
弁護士・司法書士・行政書士無料法律相談（相談件数 84 件）
心配ごと・行政相談（相談件数 1 件）
- 地域ささえあい事業**
利用会員 13 人、協力会員 18 人、活動件数 238 件
- 地域介護予防活動支援事業（町委託）**
津幡町いきいきサロン連絡会の活動支援（サロン 60 箇所）
各地区ネットワーク委員会による生活支援・介護予防活動の支援
- 生活支援体制整備事業（町委託）**
地区に必要な研修会や活動の提案、地域との連携や後方支援等
生活支援連絡会の開催（2）
- 福祉サービス利用支援事業（県社協委託）**
福祉サービス利用支援（延べ 243 回）
- 生活福祉資金貸付事業（県社協委託）**
相談件数 25 件、県社協貸付件数 9 件（震災特例うち 8 件）
- 生活困窮者向けフードパントリー活動**
フードパントリーの開催（年 3 回）
食料配布世帯（全 98 世帯）
- 介護支援ボランティアポイント事業（町委託）**
介護支援ボランティア登録者 289 人、
ポイント交換者 261 人、受入施設等 78 ヶ所
- ボランティア活動支援（災害以外）**
ボランティア相談、斡旋、登録
（ボランティア登録 39 団体 2,408 人、個人 6 人）
ジュニアボランティア活動普及事業
「子どもたちができるボランティア（災害編）」
／津幡、中条、条南、英田、井上、太白台、刈安 計7校」
児童ボランティア活動普及事業協力校
（環境調べ隊ジョウナンジャー 誰もか関わりあえるように／条南
小学生と施設交流プログラム 1 校
（条南小学校／あがたの里 車いす体験 施設利用者との交流）
夏休み中学生ボランティア体験
／親子支援センター行事ボランティア 延べ 35 人